

細岡展望台

この展望台から見えるのは、29,000 ヘクタールにも及ぶ日本最大の湿原、釧路湿原の景色です。釧路川は、アシ（ヨシ属）や、スゲ（スゲ属）が生い茂る湿原内を迂曲して流れています。1924 年にこの地で発見されるまで、日本では絶滅したと考えられていたタンチョウの生息地で、時おり展望台から見ることができます。

この湿原はかつて海の底に沈んでいた場所で、約 4,000 年前に海水が引いた際、泥炭の多い湿原へと姿を変えました。近隣にある 3 つの湖、塘路湖、シラルト口湖、そして達古武湖はこれと同時期に形成され、また中景にある丘状の地形は、沿岸であった過去の名残から宮島岬、キラコタン岬という名を持っています。

地平線に見える山々が阿寒岳です。名前が「女性の阿寒」を意味する雌阿寒岳は最も標高が高く、活火山でもあります。

その右に見えるのが休火山である雄阿寒岳で、その名は「男性の阿寒」を指しています。

1980 年に釧路湿原は、湿原の保全の枠組みを示す国際条約であるラムサール条約において、日本で初となる登録湿地となり、その 7 年後、国立公園に指定されました。